

第2次中期経営計画

(2023年4月～2028年3月)

一歩先を行き、いつも地域の力になる ～1st stage～
スピード感のある変革に挑戦し、新たな価値を創造する5年間



業績ハイライト

(2025年9月期)

第2次中期経営計画の主要計数

親会社株主に
帰属する 中間純利益(連結)
114 億円
前年同期比 +11億円

連結ROE
5.22 %
前年同期比 +0.47ポイント

連結修正OHR
56.48 %
前年同期比 △1.85ポイント

連結自己資本比率
11.53 %
前年同期比 +0.66ポイント

預金等残高(未残・十六銀行単体)
6兆3,694 億円
前年同期比 △811億円

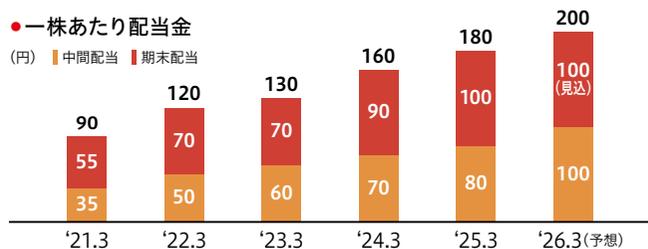
貸出金残高(未残・十六銀行単体)
5兆298 億円
前年同期比 +1,088億円

株主還元状況

当社は、株主還元の充実を目指し、2026年3月期の中間配当を前年同期比20円増配の100円としました。また、期末配当予想については、当初公表値より10円増配となる100円としました。これにより、年間配当は7期連続の増配となる200円を予定しています。

今後も、財務体質の一層の向上と株主還元の充実をはかっていきます。

● 一株あたり配当金
(円) ■ 中間配当 ■ 期末配当



株式情報

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金	期末配当は、毎年3月31日を基準日といたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
基準日	定時株主総会については毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告といたします。 当社ホームページ(https://www.16fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

株主優待制度

当社では、株主のみなさまの日頃のご支援およびご愛顧にお応えするため、下記のとおり「株主優待制度」を実施しています。

夏の株主優待 基準日 3月31日

対象/当社株式を100株以上保有の株主さま



ナチュラルミネラルウォーター
「高質の森水」1箱(500ml×24本)

冬の株主優待 基準日 9月30日

対象/当社株式を500株以上保有の株主さま



地元の名産品等の中から1点選択

Profile

商号	株式会社十六フィナンシャルグループ
所在地	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理 ならびにこれに付帯関連する一切の業務 ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
資本金	360億円
設立日	2021年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミアム市場 (証券コード:7380)

十六フィナンシャルグループのホームページはこちら▶
<https://www.16fg.co.jp/>



発行:株式会社 十六フィナンシャルグループ グループ企画統括部
岐阜市神田町8丁目26番地 TEL(058)207-0016(代)
発行日:2025年11月30日



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

16 Report

じゅうろくレポート
2025年9月期

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

トップメッセージ



代表取締役社長
池田直樹

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループの営業の概況やトピックスを要約した報告書「16Report」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

当社は、1877年に岐阜市で創業した「第十六国立銀行」を起源とし、全国16番目に誕生したナンバーバンクとして、そのままに社名を受け継ぐ日本最古の金融機関です。創業以来、いかなる時代の変化にあっても、地域のみならず、そして岐阜・愛知の歴史とともに、変わらぬ姿勢で地域金融を担い続けてまいりました。

一方、近年は地域経済を取り巻く環境がかつてない速さで変化し、不確実性も一段と高まっています。こうした状況をいち早く捉え、当社は2021年10月、持株会社体制へと移行しました。現在は、中核の十六銀行をはじめとする12社で構成される地域総合金融サービスグループとして、「グループ総合力」と「異業種連携」を強みに、新たな価値の創出に挑んでいます。地域にとって大切なテーマに真摯に向き合い、お客さまの「一歩先を行く存在」として、信頼される金融サービスを提供し続けています。

2027年度には、いよいよ創立150周年の節目を迎えます。この節目に向けて当社は2025年度からの3年間で「ホップ・ステップ・ジャンプ!」する成長イメージを描き、大きな飛躍を実現してまいります。そして、今年度は力強い第一歩を踏み出す「ホップ」の年。伝統を礎に、グループ一丸となって、全社員が確かな進化を遂げるチャレンジングな一年としてまいります。

みなさま方におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トピックス

〇じゅろくアプリ 35万ユーザー突破

当社グループ中核の十六銀行が2025年4月にサービス提供を開始した新たなバンキングアプリ「じゅろくアプリ」は、おかげさまで35万ユーザーを突破しました。

これに先立ち、2025年9月10日には30万ユーザー突破を記念し、当社グループ全職員への大入袋（祝金）支給と、イベント「じゅろくアプリ100万ユーザーに向けて～おかげさまで30万ッス～」を本社ビルにて開催しました。

今後も、機能アップデートを行い、かんたん・便利で高品質なサービスの提供に取り組んでいきます。



 **ストア評価 4.7** 「App Store」での評価（9月30日時点）
★★★★★ App Storeは、Apple Inc.の商標です。
じゅろくアプリの詳細はこちら▶ 

〇16FGオフィス&パーク 起工式

当社は、2025年6月30日に岐阜市役所旧本庁舎跡地に建設する新本社ビル「16FGオフィス&パーク」の建設地にて、工事の安全と無事な完成を祈願して、起工式を行いました。

新本社ビルは、創立150周年の節目となる、2027年度中の開業を目指しています。

当社グループにとってこの新拠点は、150年の歩みを未来へとつなぐ象徴であり、次なるステージへの出発点です。伝統を礎に進化を重ね、地域とともに持続的な成長を実現していきます。



〇第63回 十六経済懇談会

当社は、2025年10月9日に「第63回 十六経済懇談会」を、同月1日に名古屋市に開業したラグジュアリーホテル「エスパシオ ナゴヤキャッスル」で開催しました。

名古屋城の美しい景観を望めるバンケットルーム「天守の間」で、取引先企業の経営者や地方公共団体首長との懇親を深めました。今後、みなさまの事業発展に向けた活動を行ってまいります。



〇のぶながキッズマネーアカデミー2025の開催

十六銀行は、2025年8月3日にりそなアセットマネジメント株式会社との共催で、小学校高学年の児童とその保護者を対象とした「のぶながキッズマネーアカデミー 2025」を開催しました。

本イベントでは、「お金」に関する授業と、当社が開発した金融ボードゲーム「のぶながマネースタディ」を使用したゲーム大会を行い、親子で盛り上がりながら、楽しく「金融」や「岐阜の知識」について学習しました。

十六銀行では、今後も地域社会への貢献と子どもたちの金融リテラシー向上に向けた取組みを推進していきます。



〇気候変動・DXセミナーの開催

十六リース、十六電算デジタルサービスおよびNOBUNAGAキャピタルビレッジの3社は、2025年7月23日に当社が最高位スポンサーとして参画するSTATION Aiで「気候変動・DXセミナー」を開催しました。

本イベントでは、3社の社長によるトークセッションやスタートアップによるピッチと交流会を開催し、地域の事業会社とスタートアップとの交流機会を提供しました。

当社グループでは、引き続き、STATION Aiへの参画を通じて、スタートアップや事業会社などの接点を強化し、オープンイノベーションの創出に取り組んでいます。



〇企業版ふるさと納税の寄附仲介金額が4億円を突破

カングマチおこしは、2025年9月に企業版ふるさと納税マッチングサービスにおける寄附仲介金額の累計が4億円を突破しました。

2025年9月30日時点における金銭寄附マッチング「CoLoRs(カラーズ)」は54自治体、物品寄附マッチング「ITEMs(アイテムズ)」は36自治体と契約しています。

カングマチおこしでは、今後も企業と地方の公民連携を促進し、持続可能な社会の実現に向け「地方創生2.0(※)」を牽引していきます。



※デジタル技術の活用や、地域と多様に関わる「関係人口」の創出などを通じて、地域の持続的な発展を目指す新しい地域創生の考え方